

高所の民族移動と土地開発

出張者（所属）：宮本真二（琵琶湖博物館）

●日程

2010年8月28日～9月23日 主要訪問国名など：インド

●行程

8月28日関空ーバンコク（移動）、29日コルカターゴウハティーボンディラ（研究打合せ）、30日ボンディラ（調査準備）、31日ボンディラ（調査準備）、9月1日ボンディラ（調査準備）、2日ボンディラーディラングーベース・キャンプ（BC）、3日BCーナガジジーBC、4日BCーブクシンガーBC、5日BCーナガジジブーBC、6日BCーナガジジブーBC、7日BCーナガジジーBC、8日BCー国境ーBC、9日BC付近、10日BCーナガジジーBC、11日BC付近、12日BCーバルティ BC、13日バルティ BCーチョコサンーアッタペーバルティ BC、14日バルティ BCーチョコサンーアッタペーバルティ BC、15日バルティ BCーディラング、16日ディラングータマンーボンディラ、17日ボンディラ（調査総括）、18日ボンディラ（調査総括）、19日ボンディラーゴウハティ（移動）、20日ゴウハティ大学（研究打合せ）、21日ゴウハティ大学（研究打合せ）ーデリー、22日デリー（インド考古局）ーバンコク（移動）、23日関空ー帰着

●報告



医療キャンプ地点と調査ベース・キャンプ



クリープ形成型埋没腐植土層（黒色部）



土石流堆積型埋没腐植土層（黒色部）

インド北東部（アルナーチャル・プラデーシュ州）高所のブロッパ族の民族移動と土地開発の関係を解明するため現地調査を実施した。

その結果、形成プロセスが異なると考えられる埋没腐植土層や埋没した炭化木片層が数地点が確認され、当該地域の歴史的な土地開発過程を検討する際の貴重な試料を得ることができた。また、農耕技術の伝播に伴って拡大した石包丁についての情報収集も行った。